



やまばと

令和5年度
 学校だより 第12号
 都城市立富吉小学校
 令和6年2月29日
 文責：校長 溝口 常彦

★ 1月30日(火)『未来創造塾(弥五郎塾)』の開催!! ★

山之口総合センター多目的ホールにおいて、山之口地区まちづくり協議会主催の『未来創造塾(弥五郎塾)』が開催されました。山之口小中一貫教育のスローガン「ふるさとを山之口を愛し、地域に貢献できる児童生徒の育成」として、山之口地区まちづくり協議会との連携した地域活性化に向けた学びの実践に取り組んでいます。この『弥五郎塾』は、山之口の現在、未来について話し合うことを目的として行われました。山之口地区小学校6年生(山之口小・麓小・富吉小)と山之口中学校生徒会のみなさんにより、『笑顔あふれる住みよい山之口のまちづくり』をテーマに6つのグループに分かれて活発な話し合いがなされました。富っ子にとっては、終始緊張する時間を感じたそうです。しかし、いろいろな方と話げできたことが楽しかった、自分の意見が話せた感想を語ってくれた富っ子もいました。特に今回は、総合的な学習の時間で山之口の食材を使った『弥五郎丼』の実践していたので、その成果を発表もでき、地域の魅力に話題が集中していた班もありました。今回の弥五郎塾への参加は、「他者の個性を理解する力」、「他者に働きかける力」、「コミュニケーションスキル」、「チームワーク」などの力が全ての子どもたちに育っていくと思いました。



★ 1・2年生『きんかんちぎり』体験 ★

1・2年生の生活科「町たんけんに行こう」において、富吉小学校区内できんかん栽培を行っている農家さんを訪問しました。農家さんからは、きんかんの上手なちぎり方を教えていただき、楽しみにしていたきんかんちぎりを行いました。画像のようにはさみを使いながら、きんかんを優しくつかみ収穫していました。ビニールハウスの中は、通路が作ってあり作業がしやすいように整備されていました。収穫した後は、みんなでおいしくいただきました。その後、きんかん栽培の方法や苦勞したこと、うれしかったことなどを伺いました。工夫して生産されている農家さんの思いに触れたひとときでした。素晴らしい体験をありがとうございました。今回は、NHK宮崎放送局の取材もありました。子どもたちは、取材の最後に『きんかん取ったよ。てげビビ〜』と番組コールを元気よくしてくれました。



★ 2月・3月の主な行事★

*新型コロナウイルス感染症防止対応やその他の事情により、変更等が生じる場合があります。その際はご了承ください。



- 27日(火) くれよん号来校(←地区の方もどうぞ)
- 29日(木) 学校参観日(学級懇談会)

- 3/1日(金) お別れ遠足・お弁当の日
- 14日(水) 卒業式予行練習
- 15日(金) くれよん号来校(←地区の方もどうぞ)
↑令和5年度の最終回になります。
- 25日(月) 卒業式
- 26日(火) 終了式
- 29日(金) 離任式(予定)



2月 富吉小学校ホームページより

毎日、富っ子の様子を富吉小ホームページに掲載しています。
スマホのカメラ機能からQRコードを読み取り、子どもたちの活動をご覧ください。
★★★富吉小HPアドレス★★★→→ <https://cms.miyazaki-c.ed.jp/1346/>

【富吉小↓】



1月30日(火) 富っ子集会 3・4年生発表

朝の富っ子集会で3・4年生が学習の成果を発表してくれました。まず初めに、まど・みちおさんの『朝がくると』を14人で群読しました。道徳の教科書にも掲載され、内容としては次のようです。「ぼくの1日の生活を考える。水道も洋服もごはんもノートもランドセルも道路もみんな他の人が作ってくれたものである。それを使って生活している。ぼくも大人になったら何かを作るようになりたい。」次に、音楽で学習した『パフ』の合奏と合唱を行いました。リコーダーを主に3年生、鉄琴、アコーディオン、小太鼓、タンブリン等を4年生が演奏しました。リコーダーの音がよく響く演奏でした。演奏を終えて、5・6年生からよかったところを発表してもらい、3・4年生は達成感のあふれる表情でした。



2月16日(金) 性に関する指導週間 3・4年生の学習

富吉小では、性に関する指導週間が設定されています。3・4年生の学習では、これまでに外見からわかる男女の成長のちがいを学習してきました。本日は、『からだの中では、どんな成長をしているのだろう』というめあてのもと学習がスタートしました。子どもたちが黒い画用紙を覗いている3・4枚目の画像は、真ん中に小さな穴が開いています。保健室の先生から、光が漏れている小さな穴と同じ大きさが、卵子とおよそ同じ大きさであることを学びました。その後、赤ちゃんの人形を見せながら、みなさんの始まりはこの卵子からはじまっていることを聞くと驚いた声が教室に響き渡りました。自分たちがこんなに大きくなっていること、そしてからだの中では月経や精通など目には見えないところで成長がはじまっていることを学びました。最後に男女のからだ、自分のからだを大切にするためにはどのように生活していけばよいのかを考え、全体で発表し深め合いました。



2月26日(月) 6年生 高城高校にて裁縫の学習

ナップザックの裁縫実習を高城高校で行いました。高城高校の先生方や高校2年生の生徒14名の方に教えていただきました。最初はとても緊張していた子どもたちでしたが、ミシンの扱い方やアイロンのかけ方を丁寧に教えていただくうちに表情が明るくなり、とても和気あいあいとした雰囲気の中で実習を行うことができました。全員が時間内に仕上げることができ、どれもきれいな仕上がりで子どもたちも大満足の様子でした。6年の男の子は、「ミシンは苦手だったけど、将来大人になってミシンを使うことがあったら今日のことを思い出して使いたい。」と感想を述べていました。大変貴重な経験をさせていただきました。高城高校の生徒の皆様、先生方、ありがとうございました。

